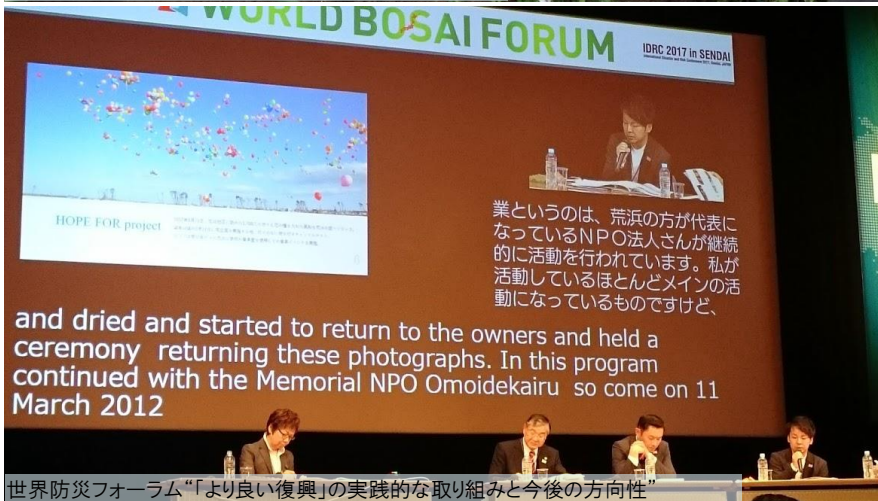




「只野真葛と荒浜」真葛菊が荒浜へ里帰り



世界防災フォーラム「より良い復興」の実践的な取り組みと今後の方向性



仙台市若林区荒浜。
震災から七年。
今でも「行っていいのかわからない」というお話を聞きます。
来てほしい、そう思いながら活動している人たちがいます。
来て良かったと話す人たちがいます。
今の荒浜の活動をまとめてみました。
今の荒浜はどんな風に見えますか？

今回は！
3.11 オモイデアーカイブ グラフィックデザイナーの
小林美香さん荒浜オススメの一品
「ハマナス」

山形県酒田市出身の私にとって、ハマナスはお盆の飾りに欠かせないものでした。はじめて荒浜に来たとき、赤い実を見て懐かしさを感じたのを思い出します。以前、喜一さんからご馳走になったハマナスのジャム。クラッカーにたっぷりとのせたその味は、甘酸っぱくて美味しくて！…とはいえ作るのには大変な手間がかかったそう。実はハマナスって、ローズヒップなんですって。ビタミンCたっぷりのハーブティーとして人気ですね。九州の方を荒浜にお連れしたとき「わあ～きれい！なんのお花？」と聞かれ、思わず前のめりで紹介してしまいました(九州には自生していないそう)。私にとって、懐かしくも新しい、思い入れのある「ハマナス」です。一美香さん、ありがとうございます。次の方の紹介をお願いします！
次回は清本多恵子さんに登場いただきます。お楽しみに！！

☕ コーヒーのお時間です ☕
高山智行さんのお気に入り

私のオススメは「荒浜小学校」です。今年の4月に震災遺構として一般公開され、延べ5万人以上の方々が訪れています。然るべき場所が開かれれば関心を持って訪れてくださる人がいることを日々実感しています。小学校は、震災遺構になりましたが、この街の象徴でもありますし、この街に住まわれていた方々の母校でもあります。そうしたことを踏まえながらも事実は脚色することなく案内をしています。屋上から見える光景を眺め、あの日から変わらず吹く風を感じるだけでも伝わるものがあると思います。

高山智行
(たかやま・ともゆき)
1983年仙台市生まれ
(所属・団体)
HOPE FOR project 主宰、
震災遺構 荒浜小学校職員。

荒浜 11月の様子

11/19

**育自のための
小さな魔法 part2 in 荒浜**
(海辺の図書館&育自の魔法
@里海荒浜ロッジ)



Part1に続き、荒浜でPart2を開催。自分の好きを語る、笑顔溢れる時間の始まり。

11/23

今夜は星を見に荒浜へ
(3.11 オモイデツアー@荒浜小学校)



夜のイベントは奇跡の始まり。
荒浜に再びやってきた移動天文車
“ベガ号”。
今回は会場を荒浜小学校に変え、星、
月、アンドロメダ銀河を見せてくれました。
光るものは大人を子供にする、そんな
一夜でした。

11/26

世界防災フォーラム
(HOPE FOR project
高山智行さん@国際センター)



HOPE FOR project 主宰の高山さんが
登壇すると聞き伺いました。
“ごくごく普通に暮らすひとりひとりが震災を
自分事として考えてくれば”
“顔が見える誰を思っ”そう話された
想いが宿った言葉は響きました。

11/12

**アラハマリポーン
3.11 オモイデツアー-餅つき**
(荒浜再生を願う会
& 3.11 オモイデツアー餅つき部
@里海荒浜ロッジ)



100歳超えの臼を携えて、餅つき部が登
場！この日、アラハマリポーンに参加した
留学生も餅つきに加わり、男子学生の振
り下ろす杵の力強さに思わず「(臼が)壊
れる〜!!」の声が上がる場面も。
大ロッジの中では、渡辺学さんによる
免許皆伝の「ガマの油売り口上」もあり、
留学生も興味津々で見っていました。
イベント盛りだくさんの一日に！！

11/18

**全国大学ビブリオバトル
2017~首都決戦
東北 A・B ブロック地区決戦**
海辺の図書館
@せんだい 3.11 メモリアル交流館)



“伝える”方法は様々に5分間でその本へ
の想いを込めて語り尽くすその姿に、会場
の方々も惹き込まれていました。

11/1

只野真葛と荒浜
荒浜再生を願う会 & 荒蝦夷
@里海荒浜ロッジ)



荒浜生まれの野菊を育てていた国文学
者の門玲子さんが、里海荒浜ロッジを訪
れ、遠い地で震災を知らずに咲き続けた
野菊の移植を作家の勝山海百合、貴田
喜一さんと共に行いました。関口幸希子
さんの朗読もあり、江戸時代の文学者
只野真葛さんが繋いだ野菊と人と土地
の縁が優しかったイベントでした。

11/9

**仙台市東部沿岸部の集団
移転跡地利活用に係る
事業者向け現地説明会**
(海辺の図書館@荒浜小学校)



現地活動者の発表の時間が設けられ、
庄子隆弘さんより荒浜で活動する団体の
取り組みと想いの発表がありました。



荒浜再生を願う会の定例会に
山形風芋煮が差し入れられました

海辺の図書館メンバーとして荒浜を訪れるようになって、沢山の方が荒浜で活動している事を知りました。訪れる方をお振舞いでもてなしたり、イベントを行ったり、歴史と文化を再現してみたり。また豊かな自然の中で体を動かしたり、モノを見つけて再生してみたり。そういった活動で人が繋がっていく荒浜の様子を見てきました。それを知って欲しいと思い活動の様子をまとめてみました。11月は『荒浜が人々と想いを繋ぐもの』が沢山見られた気がします。

荒浜の活動は誰でも参加できます！

これまで荒浜で活動してきた皆さまのご紹介: 荒浜再生を願う会 3.11 オモイデアークイブ チーム荒浜工作部 せんだい 3.11 メモリアル交流館 震災遺構仙台市立荒浜小学校 新井研究室 NPO 法人育自の魔法 ウクレレサポート協会 荒浜めぐみキッチン アグリパートナーズ CDP 他
発行: 海辺の図書館 HP: <http://umibe.org/> mail: 1112yunbo@gmail.com TEL: 080-1019-3631(館長庄子)

201711-2